

健康・医療

■ 地域包括ケアネットワーク

超少子高齢化社会を迎えるにあたり、医療機関の機能分化と連携、在宅医療の充実などに向けた地域包括ケアシステム*の構築が課題となっています。富士通はクラウドソリューションの提供により、医療・健康情報の電子化をさらに促進し、地域包括ケアシステムの実現を支援していきます。

*地域包括ケアシステム…厚生労働省の提唱する高齢者の生活を地域で支える支援体制の仕組み



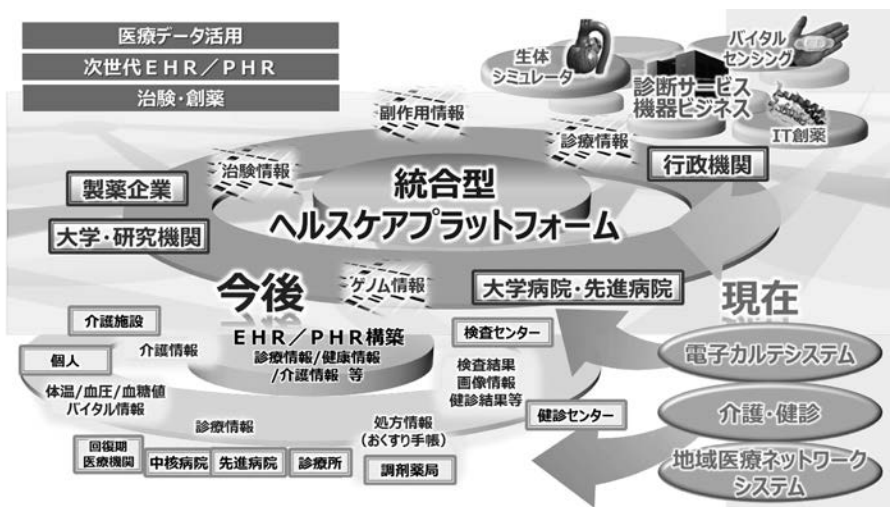
■ 事例

別府市医師会様「ゆけむり医療ネット」の構築 (地域医療・保健・福祉を連携する医療連携ネットワーク)

基幹病院と病院・診療所との円滑な連携を目的に、診療情報・検査画像などの閲覧を中心とした病院・診療所間連携に加え、訪問看護・介護との有機的な連携が可能なネットワークを構築し、2011年に運用を開始しました。さらに、2013年から2年間、処方箋電子化実証事業にも参加し、地域連携のあり方を検証。従来の“顔の見える人的ネットワーク”にICTをツールとして活用し、予防から在宅ケアまでシームレスな地域包括ケアの実現を目指しています。

■ 未来の医療へ向けた取り組み

「健康増進」、「病気の早期発見」、「重症化予防」をキーワードと考え、一人ひとりのライフステージに合わせた健康・医療サービスの提供に向け、コンピューティングパワーを活用した統合型ヘルスケアプラットフォームの構築や創薬支援などに取り組んでいきます。



■ 事例

東京大学 先端科学技術研究センター、興和株式会社との共同研究 (IT創薬)

コンピュータ上で仮想的にがんの原因となるタンパク質の働きを抑える低分子化合物を設計・評価することにより、医薬品の候補となり得る新規活性化化合物を創出することに成功しました。